

に国土交通省および福島県による道路補修作業などが完了し、9月15日午前0時より通行証の所持・確認を要せずに通過できるようになりました。

除染対策課

広野町除染実施計画に基づき、その目標達成のため除染事業を着実に展開しているところではありますが、7月14日に広野駅東側第一期整備地区の約6・1ヘクタールの除染業務について、地元業者で組織する広野町復興事業協同組合と業務委託契約を締結いたしましたところであります。

また、除染事業の進捗に伴い、除染廃棄物の仮置場スペースに不足が見込まれ、新たな仮置き場整備に向けた取り組みを行ってまいりましたが、7月23日にその造成工事に向けた工事

請負契約を締結いたしましたところであります。



広野町除染等に関する検証委員会

広野町除染等に関する検証委員会は、今日まで3回の会議を行い町などが実施してきた各種調査データの検討を行っており、今後は委員会としての検証報告の取りまとめを行ってまいります。

産業振興課

営農再開2年目の水稲作付けにつきましては、作付

たことに対し、衷心より御礼を申し上げます。今後もふるさとの復興再生と河川環境の保全、きれいな町づくりに努めてまいります。



クリーンアップ作戦

教育委員会

まず、英語教育の充実につきましては、今年度より幼・小・中通年でプログラムを組み、英語の履修時間を大幅に増設いたしました。さらに、リスニング力を高め身近なものとするた

け水田の全筆調査を行い、作付け農家138戸、作付面積154ヘクタールを確認いたしました。あぜ道相談会においては、水稲の生育確認を行うとともに、病害虫防除対策などについて説明をおこないました。

しかし、イノシシの被害も発生しているため、昨年引き続きイノシシ用電気柵の貸与を行い、作付された水田の被害防止対策を行いました。

また、農家を対象としたほ場整備事業の説明会を6月14日に開催し、新たな交付金事業による事業内容の説明を行うとともに、ほ場整備を希望する地区説明会を行い、事業要望箇所の集約をおこないました。

また、震災・原子力災害により被災した事業者の要望により、中小企業基盤整備機構の制度により整備され、町に無償譲渡されまし

た仮設宿泊施設について、双葉郡の作業員宿泊施設不足の解消ならびに双葉郡の復興を目的し、事業再開に向け準備を進めておりました被災事業者に議会の同意を経て貸付をおこないました。



広野町サマーフェスティバル2014

観光分野におきましては、7月29日、イメージキャラクター選考委員会を開催し、応募総数83点から「ひろぼー」が選出されました。今後、広野町の魅力アピールするため、イラストやキャラクターとして町のPRに活用してまいります。

8月9日に広野町サマーフェスティバル2014を広野駅南駐車場を会場に開催し、森内閣府特命担当大臣、清水いわき市長および

島県教育委員会との間で、中高一貫校に係る相互協力連携に関する協定の締結を取り交わしました。

7月28日から29日にかけての2日間、中高一貫校が広野中学校校舎を利用して開設されることから、広野中学校の広野小学校北校舎への引越し作業を行いました。

8月6日、福島県知事は、中高一貫校の校名を「福島県立ふたば未来学園高等学校」とすることを発表しました。

8月25日には、幼・小・中学校の2学期の始業式が行われました。その際、中学生と小学生が同じ校舎で就学することから、小学生と中学生の対面式も行われ、中学生は、小学生の良きお手本となることを誓いました。今後は、生活面はもちろん、学習面においても小学校と中学校が連携し

ハイスクールサミットin東北に参加の全国の高校生など5000人を超える方々のご来場をいただきました。

6月8日には、昨年に引き続き『せせらぎにほくも魚もすきとおる』を推進標語としクリーンアップ作戦を折木川、浅見川、北迫川流域で実施いたしました。避難先から多くの町民や福島県、河川愛護団体関係者約5000人の参加のもと、ふるさとの河川、海岸の清掃作業をしていただきました。

建設課

9月8日に中学生、9月9日に中学校教職員との懇談会を開催し、率直な意見・要望を聞きました。その際の要望等につきましては、改善に努め、生徒たちの学習環境のさらなる充実を図ってまいります。また、今後は保護者との懇談会も実施してまいります。

ながらより良い教育環境が築かれるよう指導してまいります。

9月8日に中学生、9月9日に中学校教職員との懇談会を開催し、率直な意見・要望を聞きました。その際の要望等につきましては、改善に努め、生徒たちの学習環境のさらなる充実を図ってまいります。また、今後は保護者との懇談会も実施してまいります。



広野町再会・交流事業「集まれ!!ひろのっこ」